

環境学習みえ

2018年1月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

特集／SDGs（持続可能な開発目標）

2018 No.71

冬

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2030年に向けた国連の新しい目標
S D G s

みなさんは「SDG s」をご存知ですか。これは Sustainable Development Goals を略して「エスディー・ジーズ」と読みます。「SDG s」は 2015 年 9 月に国連で世界中の国々が決めた「持続可能な開発目標」です。世界中のすべての人々が幸せに暮らすことができる社会をつくるための 2015 年から 2030 年までの 15 年間の目標です。三重県環境学習情報センターでは、この目標を広く知っていただくため、今回は「SDG s」を特集しました。

SDG s (持続可能な開発目標) って

世 界のリーダーが 2015 年 9 月の歴史的な国連サミットで採択した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた 17 の「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、2016 年 1 月 1 日に正式に発効しました。今後 15 年間、すべての人に普遍的に適用されるこれら新たな目標に基づき、各国はその力を結集し、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰も置き去りにしないことを確保するための取り組みを進めてゆきます。

SDGs は、ミレニアム開発目標 (MDGs) の成果をさらに一歩進め、あらゆる形態の貧困に終止符を打つことをねらいとしています。新たな目標の独自性は、貧しい国も、豊かな国も、中所得国も、すべての国々に対して、豊かさを追求しながら、地球を守ることを呼びかけている点にあります。そして、貧困に終止符を打つため、経済成長を促し、教育、健康、社会的保護、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズを充足しながら、気候変動と環境保護に取り組む戦略も必要であることを認識しています。

持続可能な開発の 3 つの側面

持 続可能な開発は、将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発と定義されています。

持続可能な開発は、人々と地球にとって包摂的、持続可能かつ強靱な未来に向けた取り組みを必要としています。持続可能な開発を達成するためには、経済成長、社会的包摂、環境保護という 3 つの主要素を調和させることが欠かせません。これらの要素はすべて、相互に関連しているだけでなく、安寧に不可欠だからです。

あらゆる形態と次元の貧困に終止符を打つことは、持続可能な開発の必須要素です。これを達成するためには、すべての人々により多くの機会を提供し、不平等を削減し、基本的生活水準を向上させ、公平な社会開発と包摂を促し、天然資源と生態系の総合的で持続可能な管理を促進することで、持続可能、包摂的かつ公平な経済成長を推進しなければなりません。

SDGs のもうひとつの捉え方 - 5 つの P

持 続可能な開発目標 (SDGs) の諸目標とターゲットはいずれも、人間、豊かさ、地球、平和、パートナーシップという極めて重要な分野で、今後 15 年間の行動を促すこととなります。



人間 (People) - あらゆる形態と次元の貧困と飢餓に終止符を打つとともに、すべての人間が尊厳を持ち、平等に、かつ健全な環境の下でその潜在能力を発揮できるようにする (目標 1、2、3、4、5 および 6)。

豊かさ (Prosperity) - すべての人間が豊かで充実した生活を送れるようにするとともに、自然と調和した経済、社会および技術の進展を確保する (目標 7、8、9、10 および 11)。

地球 (Planet) - 持続可能な消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通じ、地球を劣化から守ることにより、現在と将来の世代のニーズを充足できるようにする (目標 12、13、14 および 15)。

平和 (Peace) - 恐怖と暴力のない平和で公正かつ包摂的な社会を育てる。平和なくして持続可能な開発は達成できず、持続可能な開発なくして平和は実現しないため (目標 16)。

パートナーシップ (Partnership) - グローバルな連帯の精神に基づき、最貧層と最弱者層のニーズを特に重視しながら、すべての国、すべてのステークホルダー、すべての人々の参加により、持続可能な開発に向けたグローバル・パートナーシップをさらに活性化し、このアジェンダの実施に必要な手段を動員する (目標 17)。

SDGs：普遍的

「**持**続可能な開発目標(SDGs)」は普遍的なものであり、すべての国とすべての人による行動を必要としています。

持続可能な開発アジェンダの達成に向けた行動を起こせば、すべての人に尊厳を持った生活が確保され、さらに大きな豊かさが共有されることになります。これはあらゆる人の利益にかないます。

2016 年は、世界の国々と市民の力を結集し、各地の人々の生活の改善に向けた道を歩み出すうえで、かつてない絶好の機会となります。

アジェンダは豊かな国と貧しい国をともに対象としながら、国家間と国内の不平等の両方を取り上げるものになっています。

目標では、各国の国情や能力、開発水準の差が考慮されています。

SDGs：変革的

これは全ての人々のアジェンダであり、すべての次元で、そしてすべての場所で、不可逆的に貧困に終止符を打つための行動計画といえます。

17 の目標を伴うアジェンダは、幅広く野心的であり、誰も置き去りにしてはならないことを強調しています。

SDGs は、貧困に終止符を打つには、**経済成長を促し、教育、健康、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズを充足**することが必須であり、また、**気候変動と環境保護に取り組む戦略**も必要であることを認識しています。

SDGs：不可分

「**持**続可能な開発には、人間と地球にとって包摂的、持続可能かつ強靱な未来の構築に向けた協調的な取り組みが必要です。

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は、貧困に終止符を打ち、今後 15 年間ですべての人にとってさらに持続可能な世界を構築するため、政府、民間セクター、市民社会その他のステークホルダーによる行動に拍車をかけることになります。

「持続可能な開発目標 (SDGs)」とターゲットは、グローバルな性格を有しており、各国の国情、能力、開発水準を考慮に入れ、国内の政策と優先課題を尊重しながらも、普遍的に適用することができます。

- それぞれの目標は相互に独立しているものではありません。よって、**総合的に取り組むことが必要**です。
- すべての目標に相関関係**があります。**気候変動への対策**も平和の確保も行わずに、**飢餓ゼロ**を達成することはできません。
- すべての人に教育を提供しなければ、**ジェンダーの平等**は実現しません。

※出典・引用：国際連合広報局「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」

SDGs (エスディーゼーズ)

SDGs は、Sustainable Development Goals の略で、持続可能な開発のための目標と訳されています。

SDGs は 17 の目標と 169 のターゲットからなる、全ての国の目標です。

参照 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ 外務省仮訳

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>

目標2

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

2 飢餓をゼロに



農林水産業は適切に管理すれば、すべての人に栄養価の高い食料を提供し、適正な収入を生み出す一方で、人間中心型の農村開発を支え、環境を守することもできます。

現在は土壌や淡水、海洋、生物多様性の劣化が急速に進んでいます。気候変動は私たちが依存する資源にさらに大きな圧力をかけ、干ばつや洪水など災害に関連するリスクも高めています。農村部には男女を問わず、自分たちの土地で生計を立てられなくなり、機会を求めて都市への移住を余儀なくされる人々が多くいます。

現時点で空腹を抱えている 7 億 9,500 万あまりの人々と、2050 年までに増加が予測される 20 億人に食料を供給するためには、世界の食料・農業システムを根本的に変革することが必要です。

食料・農業部門は開発課題の解決に鍵を握るだけでなく、飢餓と貧困の根絶にも中心的な役割を果たします。

目標1

あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ

1 貧困をなくそう



1990 年以来、極度の貧困率は半分に低下しました。これは目覚ましい成果ではあるものの、開発途上地域では今でも 5 人に 1 人が一日 1 ドル 25 セント未満で暮らしており、これをわずかに上回る所得で生活している人々はさらに数百万人に及ぶほか、貧困に逆戻りする危険性を抱えている人々も多数に上ります。

貧困とは単に、持続可能な生活を確保する収入や資産がないことではありません。それは飢餓や栄養不良、教育その他の基本的サービスへのアクセス不足、社会的な差別や排除、さらには意思決定からの除外など、多様な形態を取って出現します。持続可能な雇用を提供し、平等を推進できるよう、経済成長を包摂的なものとしなければなりません。

目標3

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

3 すべての人に健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進することは、持続可能な開発に欠かせません。平均寿命を延ばし、子どもと妊産婦の死亡に関連する一般的な要因のいくつかを減らすという点では、長足の進歩が見られています。また、きれいな水と衛生へのアクセスの拡大と、マラリア、結核、ポリオ、HIV／エイズ蔓延の削減についても、大きな前進が達成されています。しかし、様々な疾病を完全に根絶し、新旧の多様な健康問題に対処するためには、さらに一層の取り組みが必要です。

目標5

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

5 ジェンダー平等を実現しよう



世界はミレニアム開発目標（MDGs）の下で、ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントに向けた前進（初等教育へのアクセスにおける男女平等を含む）を達成していますが、女性と女児は依然として、世界各地で差別や暴力を受けています。

ジェンダーの平等は基本的人権であるだけでなく、平和で豊か、かつ持続可能な世界に必要な基盤でもあります。

女性と女児に教育や保健医療、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）への平等なアクセスを提供し、政治的・経済的な政策決定プロセスへの平等な参加を確保すれば、持続可能な経済が促進され、社会と人類全体の利益となるでしょう。

目標7

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



エネルギーは現在、世界が抱える重要な課題と機会のほとんどで中心的な位置を占めています。雇用であれ、安全保障であれ、気候変動であれ、食料生産であれ、所得の増加であれ、すべての人のエネルギーへのアクセスは必要不可欠です。持続可能なエネルギーは、生活や経済、そして地球の変革を図るための機会です。

潘基文（パン・ギムン）国連事務総長は、近代的エネルギー・サービスへの普遍的なアクセスを確保し、効率を高め、再生可能エネルギー源の利用を増やすため、「万人のための持続可能なエネルギー（Sustainable Energy for All）」イニシアティブを先頭に立って進めています。

目標4

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育は、人々の生活改善と持続可能な開発の基盤です。あらゆるレベルの教育へのアクセス拡大や、特に女性と女児の就学率向上については、大きな前進が見られています。基本的識字率は大きく改善しているものの、普遍的な教育に関する目標を達成するためには、さらに一層の取り組みが必要です。例えば、世界は初等教育での男女平等を達成していますが、すべての教育レベルでこのターゲットを達成できている国はほとんどありません。

目標6

すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

6 安全な水とトイレを世界中に



すべての人がきれいな水を利用できるようにすることは、私たちが望む世界で暮らすために欠かせない要素です。地球上には、これを達成するのに十分な真水があります。しかし、経済の悪化やインフラの不備によって毎年、数百万人が水不足や劣悪な衛生状態に関連する疾病で命を失っており、しかも子どもはその大半を占めています。水不足や劣悪な水質、衛生施設の不備は全世界で、貧困世帯の食料の安定確保、生計手段の選択、教育の機会に悪影響を及ぼしています。世界の最貧国の中には、干ばつに襲われ、飢餓と栄養不良がさらに悪化している国々もあります。2050年までに、4人に1人以上が慢性的または反復的な水不足を抱える国で暮らすことになると見られています。

目標8

すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する

8 働きがいも
経済成長も



世界人口の約半数は1日約2ドル相当の所得で生活しています。また、仕事があっても貧困から脱出できるとは限らない場所があまりにも多くなっています。改善はとてもゆるやかで不均等でしかありません。貧困根絶のためには経済・社会政策の見直しと改革が迫られています。

ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の機会の欠如、不十分な投資、過少消費が続いていることで、すべての人が進歩を分かち合わねばならないという、民主主義社会の根底をなす基本的な社会契約が形骸化しています。2015 年以降も、ほとんどすべての経済にとって、質の高い雇用の創出は大きな課題となるでしょう。

持続可能な経済成長を実現するためには、すべての人が環境を損なうことなく、経済を活性化できる質の高い雇用を得られるための状況を社会が整備する必要があります。また、現役世代全体に雇用の機会と適正な労働条件を提供することも必要です。

目標9

レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



輸送、灌漑、エネルギー、情報通信技術などのインフラへの投資は、多くの国々で持続可能な開発を達成し、コミュニティのエンパワーメントを図るうえで欠かせません。生産性と所得の向上や、健康と教育成果の改善にインフラへの投資が必要なことは、以前から認識されています。

包摂的で持続可能な産業開発は、主要な所得創出源であり、すべての人の生活水準の急速かつ持続的な向上を可能にするとともに、環境上健全な産業化に向けた技術的解決策も提供します。

技術的進歩は、資源効率の改善や省エネなどの環境関連の目的達成に向けた取り組みの基盤となります。技術やイノベーションがなければ産業化は起こりえず、産業化がなければ開発は起こりえないからです。

目標10

国内および国家間の不平等を是正する

10 人や国の不平等
をなくそう



国際社会は、人々を貧困から脱出させるという点で、長足の進歩を遂げました。後発開発途上国や内陸開発途上国、小島嶼開発途上国といった最も脆弱な国々では、貧困の削減が引き続き進んでいます。しかし、不平等が解消せず、保健・教育サービスその他の資源へのアクセスという点で、大きな格差が残っています。

また、国家間の経済的格差が縮小傾向にあるとしても、各国国内では不平等が拡大しています。経済成長があっても、それが包摂的でなく、経済、社会、環境という持続可能な開発の 3 つの側面にすべて関係するものとならない場合、貧困削減には不十分だというコンセンサスも広がっています。

不平等を削減するためには、原則として社会から隔絶された恵まれない人々のニーズに注目し、普遍的な政策を導入すべきです。

目標12

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

持続可能な消費と生産には、資源効率の改善と省エネの推進、持続可能なインフラのほか、すべての人に基本的なサービス、環境にやさしく、やりがいのある仕事、生活の質的向上を提供することが関わってきます。これを実現すれば、全般的な開発計画の達成、将来的な経済・環境・社会コストの削減、経済的競争力の強化、さらには貧困の削減に役立ちます。

持続可能な消費と生産は、「より少ないもので、より大きな、より良い成果を上げる」ことを目指します。ライフサイクル全体を通じて生活の質を改善する一方、資源利用を減らし、地球の劣化を緩和し、汚染を少なくすることで、経済活動から得られる利益を増やします。

また、生産者から最終消費者に至るまで、サプライ・チェーンにおける体系的なアプローチとアクター間の協力も必要になってきます。そのためには、持続可能な消費とライフスタイルに関する啓発と教育を通じた消費者への働きかけ、基準や表示を通じた消費者への十分な情報提供、持続可能な公的調達に向けた取り組みなども行わなければなりません。

12 つくる責任
つかう責任



目標11

都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

都市はアイデアや商取引、文化、科学、生産性、社会開発など、多くの物事を中心地となっています。最良の状態なら、都市は人々が社会的、経済的に前進を遂げることを可能にしてきました。

しかし、引き続き雇用と豊かさを作り出しながら、土地や資源に負担をかけ過ぎないように形で都市を維持するためには、多くの課題が残っています。都市部でよく見られる課題としては、過密、基本的サービスを提供するための資金の不足、適切な住宅の不足、インフラの老朽化があげられます。

都市が抱える諸課題は、その繁栄と成長を継続しつつ、資源の利用を改善し、汚染と貧困を減らす形で克服することが可能です。私たちが望む未来には、基本的サービスやエネルギー、住宅、輸送その他多くのもののへのアクセスを確保し、すべての人に機会を提供できる都市が含まれます。

11 住み続けられる
まちづくりを



目標13

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

13 気候変動に
具体的な対策を



気候変動はあらゆる大陸のあらゆる国に影響を及ぼすようになっていきます。国民経済が混乱し、生活に支障を来すことで、人々やコミュニティー、そして国々には、現在はもちろんのこと、将来的にもさらに大きな負担がかかることになります。

人々は気候変動の深刻な影響を受けていますが、その中には天候パターンの変化、海面の上昇、異常気象の増加が含まれます。人間の活動に起因する温室効果ガスの排出は、気候変動を助長しながら、増大し続けています。排出量は現在、史上最高の水準に達しています。これに対策を講じなければ、地球の平均表面温度は 21 世紀中にもさらに上昇を続け、上昇幅は今世紀中に摂氏 3 度を超えるものと見られます。世界には、これよりさらに大幅な温暖化が進む地域も出てくるでしょう。一番大きな影響を受けるのは、最貧層と最弱者層です。

各国がよりクリーンで強靱な経済を一気に達成できるような、手ごろで拡張可能な解決策は、すでに利用できる状態にあります。再生可能エネルギーその他、温室効果ガス排出量を削減し、適応への取り組みを本格化させる幅広い措置を採用する人々が増えていることで、変革は加速しています。

しかし、気候変動は国境を越えたグローバルな課題です。どこかで温室効果ガスの排出が増えれば、あらゆる場所の人々に影響が出ます。これは国際レベルで調整すべき解決策を必要とする問題であるため、開発途上国の低炭素経済への移行を支援するための国際協力が重要となってきます。

各国は 2015 年 12 月、気候変動に取り組むため、パリでグローバルな協定を採択しました。

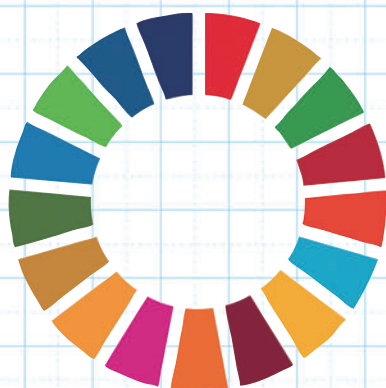
目標15

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



地表の 30% を覆う森林は、食料の安定確保と避難場所の提供に加えて、気候変動と闘い、生物多様性や先住民の居住地を保護するうえでも鍵を握る役割を果たします。毎年、1300 万ヘクタールの森林が失われる一方で、乾燥地の劣化が進み、36 億ヘクタールが砂漠化しています。

人間の活動と気候変動に起因する森林破壊と砂漠化は、持続可能な開発にとって大きな課題となっており、貧困と闘う数百万人の暮らしや生計に影響を与えています。森林を管理し、砂漠化に対処するための取り組みが行われているところです。



SDGs カラーホイール

目標14

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

14 海の豊かさを守ろう



世界の海洋は、その温度、化学的性質、海流、生物を通じ、地球を人間にとって住みよい場所にする地球規模のシステムを動かしています。雨水や飲み水、気象、気候、海岸線、私たちの食料の多く、さらには私たちが吸っている大気中の酸素でさえ、究極的には海洋によって提供、制御されています。海洋は歴史全体を通じ、貿易や輸送に不可欠な経路にもなってきました。この地球にとって必須の資源を慎重に管理することは、持続可能な未来の重要な要素となります。

目標16

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

16 平和と公正をすべての人に



「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標 16 は、持続可能な開発に向けた平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルで効果的で責任ある制度を構築することを定めています。

目標17

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



持続可能な開発アジェンダを成功へと導くためには、政府、民間セクター、市民社会の間のパートナーシップが必要です。人間と地球を中心に据えた原則や価値観、共有されているビジョンと目標に根差すこのような包摂的パートナーシップは、グローバル、地域、国内、地方の各レベルで必要とされています。民間の数兆ドルに上る資金が持つ変革力を動員し、方向を変え、解放し、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に役立てる必要があります。特に開発途上国では、重要部門への海外直接投資を含む長期的な投資が必要とされています。具体的な部門としては、持続可能なエネルギー、インフラと輸送、さらには情報通信技術が挙げられます。公共セクターは明確な方向性を定めなければなりません。投資を誘致し、持続可能な開発をさらに促進できるよう、審査・監視枠組みや規制のほか、このような投資を可能にするインセンティブの構造を改革しなければなりません。最高会計検査機関や立法府による監督機能など、国内の監督メカニズムも強化すべきです。

※出典・引用：国際連合広報局「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」

SDGs に法的拘束力はありません。誰も置き去りにしないことを約束したアジェンダに沿って、すべての国や地域、すべての人々が持続可能な開発目標達成のために、自主的に行動していく目標なのです。

SDGs と ESD 三重県環境学習情報センターの取組

三 三重県環境学習情報センターは開設以来、地球問題、地域の課題をテーマにした講座や体験学習、指導者養成、環境情報の提供など多岐にわたる事業を展開してきました。

しかし、時代や社会の変化とともに環境問題は変化し、取り組むべき課題も多様になってきています。

そこで、私たちがこれから取り組もうとしているのは「SDGs」。2015 年国連で採択された「持続可能な開発目標」です。日本政府は SDGs 対策推進本部を設け、国際社会の中で重要な役割を果たそうと多様な施策を検討、実施しています。企業においても、環境レポートや CSR レポートに 17 の目標が描かれたマークを表記し、SDGs 目標との関連性を示す動きが始まっています。学校教育でも、授業カリキュラムにマークを記し、SDGs 目標と授業のつながりを可視化するなど、少しずつですが、SDGs の取り組みが進み始めています。

SDGs の 17 の目標はそれぞれが大きな課題ですが、当センターは「SDGs」という合言葉によって、世界の課題と私たちが暮らすまちや地域の課題とを結びつけることができるようになったと考えています。

このことは、SDGs は、すべてをゼロから始めることではなく、今ある活動やその成果が、地域の人々や他の団体との連携、また、企業や自治体との連携などによって、今まで以上にやりやすくなり、大きな成果に発展する可能性が高くなったと期待します。

2030 年までの目標である SDGs の目標達成のためには、「ESD（イーエスディー）：持続可能な開発のための教育」のさらなる推進が重要になります。

SDGs の目標の中で「教育」を課題とする目標は「4 質の高い教育をみんなに」で、17 の目標の中の一つとなっています。しかし、ESD は SDGs の他の 16 の目標達成にそれぞれ結びつくものであり、ESD の推進が SDGs のすべての目標達成を支えているともいえます。

当センターも、「環境」「教育」を切り口に、多様なセクター、分野がつながる講座や活動を展開しようと思案中です。

センターとしてできることは何なのか、センターとしてなすべきことは何なのか、みなさんと一緒に考えながら ESD に取り組んでいきます。

※参考文献：仮訳「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」（国連文書 A/70/L.1 を基に外務省で作成）
※出典・引用：国際連合広報局「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」

環境学習推進員の
後藤 綾水が
報告します!

活動レポートVol.20

松阪市立山室幼稚園

「エコソング うたおう&おどろう」

平成29年12月4日(月)

環境・体験講座などのようすを
紹介するゾウ!



スタッフの手作り
エコソングペット
人形です!

CO₂をリサイクルって
どんなこと?



みなさん、環境のお話を
真剣に聞いてくれました。

エコソングーん!
答えは……?



缶やペットボトルには
マークがついています。
上手に分けられるかな?

みんなでへらそう!
シーオーツー!!



CDと歌詞、振付のプリントを
プレゼントするので
また園で踊ってみてね。

センターでも、県内各地へのお前でも、
どちらでも開催可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の
学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体
験講座」をご利用ください。

「エコソング～うたおう&おどろう～」

時 間 30～45分(環境についてのお話を含む)

人 数 10人～ ※人数が多い場合は要相談

対 象 3歳～小学2年生

※お話の内容は、年齢に応じて変わります。

環境学習情報センターでは幼児を対象に
した環境・体験講座を開催しています。その
なかで今回は、歌や踊りを通して子どもた
ちが環境のことを楽しく学べる「エコソ
ング」について、松阪市立山室幼稚園の園児と
ひよこ教室の子どもたちとその保護者のみ
なさんと一緒に踊った様子を報告します。

まず最初に、大型絵本の読み聞かせと、
イラストを見ながら、今、困っている地球
温暖化などの環境問題についてわかりや
すくお話しました。そして環境を守るため
に電気をつけっぱなしにしたり、好き嫌い
をしてご飯を残したりしないことをみな
さんとお約束しました。

また、環境学習情報センターキャラク
ターのエコゾウと一緒に、缶やペットボトル

などをリサイクルマークごとに分別する
ことにもチャレンジしました。山室幼稚
園では、給食で飲んだ牛乳の紙パックを
自分で切り開いているそうです。日頃か
らリサイクルに取り組んでいるのです。
ね。紙パックはリサイクルすることによ
って、トイレットペーパーやノートなど
の新しい製品に生まれ変わります。

次はいよいよダンスです。1曲目の
「みんなでへらそうCO₂」は公共交通機
関を利用するなど、CO₂をへらすために
できることを歌にしています。バス、電
車の振付や最後のCO₂のピースポーズ
まで、かつこよくきめてくれました。

2曲目は「おいしいのんでリサイク
ル」です。飲んだ後の飲料の缶や紙

パックはどうやって捨てればいいのか
な?資源ごみの出し方を楽しくダンス
で覚えることができます。

環境というテーマは難しく感じられ
るかもしれませんが、子どもたちの大
好きな歌やダンスを通して関心を持っ
てもらい、この機会に環境のために自分
にもできることを知ってもらいたいと
思います。「エコソング」は保育園や幼稚
園、小学校だけでなく、地域の子育て支
援の場などでも開催できます。体操が
できるスペースであれば、屋内でも屋外
でも可能です。みなさんも一緒に踊って
みませんか♪

【報告 環境学習推進員 後藤 綾水】

環境・体験講座のご案内

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、地球温暖化と省エネルギー講座、ふるしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問合せください。お申込みは、希望日の1か月前までをお願いします。



平成29年度「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」入賞作品を発表!

身近な視点から地球温暖化防止に向けてメッセージを発信し、より多くの人々の関心を高めることを目的に、小・中学生を対象にポスターコンクールを実施しました。今年度は、県内77校・1,806人から応募がありました。ご応募いただいたみなさま、ありがとうございます。

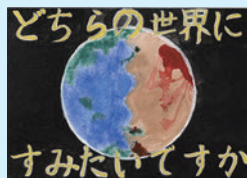
応募作品は、三重県立美術館の学芸員を審査員として招き、厳正に審査を行った結果、入賞作品16点を決定しました。入賞作品は、今後、三重県総合博物館(津市)、三重県立熊野古道センター(尾鷲市)等で展示予定です。ぜひ、ご覧ください。

入賞作品16点はウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://eco-mie.sblo.jp/article/181480855.html>

小学生の部



最優秀賞
津市立一身田小学校2年生
みなみ たいき
南 汰輝



優秀賞
津市立立成小学校6年生
すずき はるな
鈴木 花奈



優秀賞
伊勢市立浜郷小学校4年生
まつい ほだか
松井 誉敬

中学生の部



最優秀賞
松阪市立鎌田中学校3年生
やまかみ なるき
山上 稔貴



優秀賞
鈴鹿市立創徳中学校3年生
ほんだ みく
本多 未来



優秀賞
鈴鹿市立鈴峰中学校3年生
くわはら きらら
栞原 貴桜楽

(敬称略)

企画展示

12・1月

平成29年度12月・1月の「企画展示」では、以下の展示を開催中です!ぜひお越しください。

開館時間:9:00~17:30 展示期間:平成30年1月30日(火)まで

開催中

「みなさんの想いを伝えます! ~かんきょう絵手紙発表会~」

お手紙、ありがとう♪
情報誌「環境学習みえ」で、募集しました「かんきょう絵手紙」をお送りいただき、ありがとうございます。みなさんの日頃の想いをお寄せいただきました。

センターに見学に来てくれた、こどもエコクラブのみなさんは、休憩中にその場で上手に書いてくれました。

また、今回の展示ではセンターで開催している工作教室の作品も展示しています。10人以上お集まりの場所で開催できます。こちらもお気軽にお問い合わせください。



8月に届いた作品



開催中

特別展示

第18回「未来に残そう青い海・図画コンクール」四日市海上保安部

特別展示「第18回未来に残そう青い海・図画コンクール」作品展では53点の作品を展示しています。

海上保安庁がこれまで行ってきた海底地形調査(海の深さの調査)のデータをコンピューター処理により作成した3Dメガネで見る「日本周辺海底地形図」の展示と、「うみまる(海上保安庁イメージキャラクター)顔出し看板」もありますよ♪



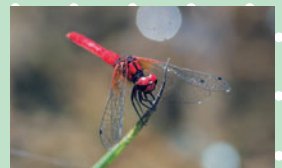
予告

2・3月

株式会社東産業

桜西地区の絶滅危惧種の紹介

四日市市は、湧水が豊富な水環境の豊かな地域です。その代表的な地域である桜西地区の自然環境と絶滅危惧種について、映像や写真を使ってお伝えします。



※展示期間や展示内容は変更になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

三重県環境学習情報センター 講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境講座はお近くでも開催できます

学校の先生の場合	地域活動団体の場合	自治体の場合
スキルアップにご利用ください。	メンバーの環境教育やスキルアップにご利用ください。	市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

環境講座は出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください。

講座予定

環境学習指導者養成講座 環境学習リーダー養成講座

会場：サン・ワーク津（津市）

ESDアクティビティ体験コース

開催日	1月27日(土)	締切	先着順
-----	----------	----	-----

ESDファシリテーター養成コース

開催日	2月17日(土)、3月3日(土)、3月17日(土)	締切	先着順
-----	---------------------------	----	-----

環境学習指導者養成講座 みえ星空環境案内人養成講座

① 2月24日(土) ② 3月3日(土) ③ 3月17日(土)

会場	三重県環境学習情報センター 四日市市勤労者・市民交流センター 鈴鹿馬子唄会館、鈴鹿峠自然の家 天文台「童夢」	締切	先着順
内容	星と人と環境のかけ橋になる指導者を養成する連続講座。「星空案内人（星のソムリエ）®」の認定も目指すことができます。※要受講料		

環境学習指導者養成講座 野鳥案内人講座 （基礎・早春）

3月10日(土)

会場	サン・ワーク津および志登茂川(津市)	締切	2月16日(金)
内容	野鳥を通して、自然の多様性・つながり・人との関わりなどを伝えられる「野鳥案内人」をめざす講座です。普段から野鳥に関心をもって観察している方、野鳥観察会実施のために、基礎的なことを学んでみませんか。		

スキルアップ講座 自然災害とどう向き合うか① 地震・津波

2月22日(木)

会場	津市河芸公民館（津市）	締切	先着順
内容	津地方気象台の東海地震防災官を招き ◇地震・津波のメカニズム ◇「東海地震注意情報」「津波警報・注意報」の情報についてお話いただきます。		

スキルアップ講座 食品リサイクルは命をつなぐ環 ～企業に学ぶサステナブルな取組～

4月18日(水)

会場	四日市市総合会館（四日市市）	締切	先着順
内容	一般家庭から出る食品廃棄物の量は、食品ロスの総量で大きな割合を占めます。ユニー株式会社より講師を招き、企業の食品廃棄物削減対策から、食品ロスの削減について学びます。		

スキルアップ講座 環境県民講座「伊勢湾の再生を考える」 伊勢湾の漂着ゴミ問題の動向と 最新情報技術を活用した自動モニタリング調査

3月24日(土) 午前

会場	三重県総合文化センター（津市）	締切	2月27日(火)
内容	伊勢湾の漂着ゴミの最新の話題提供（県大気・水環境課と進めている共同研究の内容も紹介）		

スキルアップ講座 田んぼが育む生きものと人のかかわり

3月24日(土) 午後

会場	三重県総合文化センター（津市）	締切	2月27日(火)
内容	田んぼがどのように魚たちに利用されてきたのか、現在、田んぼや水路の状況がどのように変わり、魚たちにどう影響しているのかなどのお話です。生物との共存や生物と人との関わり、農村景観などについて考えてみましょう。		

環境講座 松名瀬干潟で環境学習を体験しよう！ ～中高生による干潟の紹介～

3月18日(日)

会場	松名瀬干潟（松阪市）	締切	先着順
内容	三重中学校・高等学校科学技術部による ◇松名瀬干潟の概要説明 ◇アサリによる浄化実験 ◇潟湖干潟の生物観察 ◇ビーチコーミング ◇ディスカッションなど		

講座

開催時期

スキルアップ講座 自然災害とどう向き合うか② 地域防災力をいかに高めるか？～考え方と事例紹介～	3月18日(日)
環境学習指導者養成講座 インタープリター養成講座	4月7日(土)・14日(土) 5月12日(土)・26日(土)
子ども環境講座 自然は何色？染めてみよう!!～たまねぎ編～	4月8日(日)

講座

開催時期

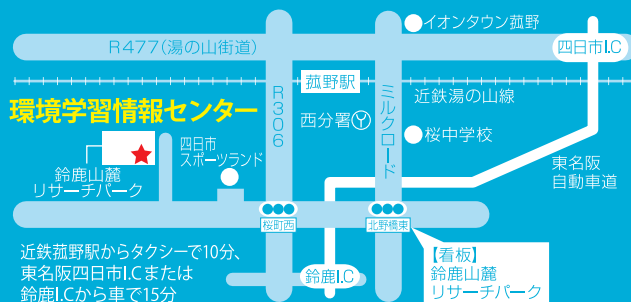
環境講座 春のバードウォッチング	5月6日(日)
環境講座 エコぞうウォーク	4月1日(日)・5月20日(日) 9月2日(日)・11月11日(日)
環境工房 アオヅルを使った籠づくり	4月28日(土) 午前・午後

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越しください

f Facebook @eco_zou



編集後記：行政も企業も学校もSDGsに向けた取組を始めています。取り組む主体が変わり視点が変わると実践もそれぞれ。広い視野を持っていなければならないと思います。生田久美